

神に守られての脱出

創世記三一章―21節

主はヤコブに言われた。「あなたは先祖の地、親族のもとに帰りなさい。私はあなたと共にいる。」(3)

ラバンのもとに来て以来二十年、何度も欺かれ、奴隷のように使われてきたヤコブに対して、主は今日の聖句のように励まされました。さらに、「私はラバンがあなたにしたことをすべて知っている。……私はベテルの神である」(12、13)と言われました。石を枕にして寝たあのベテルで現れてくださった神が、この二十年間ヤコブを見守り続け、約束したとおり彼を責任をもって父の家へ連れ帰ってくださいと言われるのです(二八15)。時の流れとともに人の心は変わっても、主ご自身とのお約束は変わることがありません。苦しみ続けたラバンの家が、神の家、ベテルだったのです。ヤコブに対するラバンの仕打ちをすべて見ておられた神は、私たちの生活の全てを見ていてくださいます。ベテルの神をわが神と仰ぎつつ、山あり谷ありの人生を力強く歩んで行くようではありませんか。